

した。

## 今泉春江議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 次に、順位8番、議席番号8番、今泉春江議員。

(8番今泉春江議員登壇)

○**8番 今泉春江議員** 日本共産党の今泉春江でございます。内容市長に3つの質問をします。

私はこの間、さまざまな団体の総会に出席し、その会員の方々と懇談してまいりました。さらに、多くの市民の方々と会話をしてまいりました。その中では、議会だよりではわからない議会の様子、今、議会ではどのようなことが議論されているのか、何が問題となっているのかなどを報告しながら、市民の皆様のご要望やご意見などを伺ってまいりました。

多くの市民の皆様は、どなたも消費税が増税されてから生活が苦しい、厳しい、年金、医療、介護など、どれをとっても私たちにはよくなっていないとの年金生活者の声。アベノミクスは大企業だけ潤い、我々地方の零細企業はますます大変になるばかり、3本の矢は的が外れているのではないかと。小売店や飲食店などは材料や仕入れの価格が上がっており、利益が上がらない、経営は厳しいとの声。若い方は、派遣で何年も同じ仕事で働いているが、お昼休みなど15分しかなく、こんなに働いても給料は全然上がらない。一億総活躍などと言っているが、このままでは活躍などできるはずはない。この給料で結婚もできない、何とかしてほしいなどなど、厳しい現状を嘆いておられました。国の政治がどんなにか大きく市民生活に影響していることを痛切に感じてまいりました。

このたびの質問は、市民の皆さんのそんなたくさんのご意見やご要望の中から、次の3点に

ついて質問いたします。

まず最初の質問は、ヨークベニマル長井店撤退後の対策についてです。

中心市街地にあった大型スーパーが撤退し、3カ月半が過ぎました。今、市民の最大の関心かつ重要な要求は、撤退後の対策です。撤退後は歩行者もほとんどなく、車の往来も極端に少なくなり、今までとは一変してしまいました。まるでゴーストタウンのようだと話す市民もあり、まさにそのとおりの様子です。まず、買い物に困る市民が多数出てしまいました。また、スーパーがあった近くの商店では、撤退後お客様が激減し、一日も早く次の方に入店してにぎわいを戻してほしいと深刻な様子で訴えています。

考えますと、近くの商店街の方々も撤退したスーパーも、お互いに重大な相乗効果があったことが改めてわかりました。長井市では、観光交流センターの建設が来年4月の完成を目指して急ピッチで進んでいます。市は、この建設が中心市街地活性化の大きな目的であると言ってきました。しかし、これでは長井市にとって活性化に逆行することになるのではないかと危惧をいたします。

撤退の影響は買い物客だけの問題ではないこと、市民の暮らしに重大な影響を与え、まち全体の大きな問題となっています。今、市民は、この空き店舗の活用について最大の関心を持ち、期待をしています。さまざまな臆測も出ており、市民は混乱しています。

そこで、市長に伺います。まず、現在空き店舗となったタウンセンターの建物の活用についてどのように取り組まれているのか、その現状と見通しについて伺い、そして一刻も早く再建が実現するよう、全力を挙げられるよう要請します。

次に、買い物に困っている方についてです。撤退前には、1日1,200人の利用者がいました。

この方々の買い物が問題になっています。市は、こうした買い物に困っている方がどれぐらいおられるのか、その実態がどうなっているのか把握されているでしょうか。それを明らかにしてください。

次に、応急対策です。その一つは、前回は提案したバス料金の補助についてお聞きします。撤退後、中心市街地に住んでいる方で車や自転車に乗れない方、特に高齢者などは、近くのお店や菜なポートなどへ歩いて買い物に出かかっています。しかし、何とか間に合うものもありますが、全てがそろふことにはなりません。菜なポートなどでは、洗剤はないですかなどと聞いてくる方などもいるそうです。そのため、市民は市営バスやタクシーを利用して北や南の大型スーパーまで買い物に出かかっています。しかし、毎日バスやタクシーで買い物も大変です。ある方は、わずかな年金だけの生活の自分毎日毎日バスやタクシーを利用するのも経済的に大変だ、せつかく割引のものを買ってもバスやタクシー代がかかり、何にもならない、何とかならないかなどと訴えている方がおりました。ある高齢の女性は、買い物難民は私だ、対策はどうなっているんですかと質問されました。

時間が過ぎれば過ぎるほど困難が長く続き、市民にかかる負担は増幅します。その負担を少しでも解消するために、前回は提案しましたバス賃の片道を市で補助してはどうでしょうか。前回の提案では、片道分の半分50円を市が負担し、スーパーでも残りの50円を負担、スーパーでは1,000円以上のお買い上げの方など条件をつけるなどしましたが、せめて市だけでも市民のためになさってはどうかでしょうか。新しいスーパーが入店するまでと期間を限定して行ってはいかがでしょうか、再度提案をいたします。

次に、第2の提案として、土曜日、日曜日、祝日のバス運行についてです。

先ほど申し上げたように、バスで出かける方

が特に土曜日、日曜日、祝日のスーパーの割引売り出しなどで買物をしたい、また、休みなので置賜病院に見舞いに行きたいなどといっても、バスがありません。長井の市営バスは市役所のように土曜日、日曜日、祝日がお休みなのかとの声があります。市役所には休みがあっても、生活には休日はありません。休日こそバスが必要と考えます。市民の利便性を第一に考えてください。バスの土曜日、日曜日、祝日運行について、お考えをお聞かせください。

次に、長井小学校第一校舎の存続と活用についてお聞きします。

長井市には、8件22棟の国登録有形文化財があります。その文化財を紹介するマップが市教育委員会から出されました。長井の貴重な文化財に触れ、歴史や文化の大切さを再認識したところです。その中には長井小学校第一校舎が紹介されており、平成21年1月18日に国登録有形文化財に指定されました。この登録には多くの市民や関係者の努力がありました。1928年に建設され、今も大切に使用されており、保存状態もよく、木造建築の校舎が残っているのは全国的にも非常に珍しいと紹介されています。文化財として大切に保存すべきと考えます。

しかし、ここに来て免震工事や改修などの計画が示されましたが、補助金や工事金額が当初計画より大きく変更になり、改めて検討しなくてはならないとされています。当初このことが報告されたのが3月です。職員室など管理棟として使用することが前提の計画でしたが、管理棟として使う場合と文化財としてだけ活用すると、財政負担はどう違うのかも伺います。

まず、長井市の宝として国登録有形文化財の第一校舎を保存させることについて、市の対応の現状と今後の見通しについて伺います。

次に、この第一校舎を文化財として存続させるだけでなく、これを有効に活用するための構想はどうかについて質問します。

文化財としての保存はもちろんですが、文化財の利活用の仕方を市民の声を大いに聞いて研究すべきだと思います。例えば教育の歴史資料館としての資料の展示、また、長井や日本、世界に貢献してきた方々の紹介、例えば菅原白龍、また、先日、山形新聞に連載されていた竹田清五郎さんの功績、桑島忠一さん、横山八次さん等の人物と業績の紹介などなどです。残念ながら、長井市では建造物の紹介、保存はあっても、こうした人物を紹介する施設がありません。長井小第一校舎は何よりも文化財として重要で貴重であり、市民の宝、市民の誇りです。そして、長井の子供たちへの教育のために、市民にも大きく寄与するのではないのでしょうか。さらに、観光にも大きく貢献すると思います。お考えをお聞きます。

最後の質問に参ります。市民ギャラリーについてです。

ギャラリー駐車場の利活用についてお伺いします。現在、長井市で市民ギャラリーとして開設しているのは、駅舎内にあるギャラリー駐車場だけです。22年間続けてきた前身のギャラリー一十字路からこのギャラリー駐車場が市民の力で継続され、開設10周年になりました。昨年の入館者は県外の方が691人、市外の方が1,396人、長井市内の方が4,877人、合計6,964人でした。このギャラリーでは、長井駅においでになる観光客に対し常時観光案内を行っており、今年度も商工観光課からの依頼により、観光パンフレットの配置と管理、観光情報の提供、さらに駅の花への水やりやイベント、おもてなしへの協力などを引き受けております。長井駅は長井市の玄関であり、このギャラリーは重要な役割を担っています。長井市としても、このギャラリーが単なるギャラリーではなく、市の文化の向上、観光客や市民の憩いの場所として長井市に協力し、多くの役割を果たし、活動し、貢献していることに注目していただきたいと思いま

す。

この運営は、会員の会費や展示会場費などで補っています。家賃や光熱費などを考えますと厳しいものがありますが、会員の方は芸術文化の火は消してはならない、長井の芸術文化は私たちが守っていくと頑張っています。ところが、この場所は狭く、ギャラリーとはなっているにもかかわらず展示のための環境は整っていません。そこへ10年が経過し、改修も必要となっており、何よりも入り口が狭く、使い勝手が悪いのです。それでも多くの方が来館され、市民の作品に触れ、心も体も癒され、元気をもらい帰っていきます。人はパンのみでは生きていけないという言葉があります。文化は人間にとって、なくてはならないものです。

そこで、ギャラリー駐車場は市民が集える市民ギャラリーとしての改修が必要ではないでしょうか。長井市として改修に協力することが必要と思いますが、いかがでしょうか。具体的なお考えをお聞きしたいと思います。

以上は応急の措置として必要ですが、市には本格的なギャラリーが必要であり、皆さんもそれを強く望んでおられます。市にできるだけ早く本格的なギャラリーが実現するよう、市として尽力すべきと思います。市としてのお考えをお伺いします。

以上、壇上からの質問を終わります。（拍手）

○**渋谷佐輔議長** ここで暫時休憩いたします。再開は、午後1時といたします。

午前 11時55分 休憩

午後 1時00分 再開

○**渋谷佐輔議長** 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

今泉春江議員の市政一般に関する質問を続行いたします。

当局の答弁を求めます。

内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉議員からは大きく3点ご質問いただきましたので、順次お答え申し上げます。

まず最初に、ヨークベニマル長井店撤退後の対策についてでございます。

全体的な考え方といたしましては、ヨークベニマル長井店の撤退ということは以前からそういう兆候という言い方は失礼ですが、そういったヨークベニマル側からの考えなども3年前に示されておりましたので、ぜひタウンセンターのほうでさまざまなヨークベニマルとの話し合いを通じて、とどまっていたくような対策をお願いしたいということは以前から申し上げておったつもりなんです。残念ながら撤退されてしまったと。ただし、これは私ども長井市だけではなくて、全国的に中心市街地から大型店舗、スーパーなどの量販店も含めて撤退の状況でございます。近年ですと、あの東根市でさえまちなかからスーパーが撤退してるという状況でございますので、非常に残念だというふうに思います。

ただ、これは私どもの所有物ではございませんので、したがって、基本的には民間でいろいろな努力をお願いしたいというのが基本的なスタンスでございます。

そういった中で、特に残念だったのは、2年間をかけた長井市中心市街地活性化基本計画をつくるための長井商工会議所と置賜地域地場産業振興センターが中心となりまして、長井市中心市街地活性化協議会というのを計画の認定なども含めて行っておりました。その際にタウンセンターの関係の方も入っていただいており、この中心市街地活性化基本計画の中に例えばタウンセンターの大規模改造とか、そういっ

た事業を組み入れていただきますと国のさまざまな支援をすることができますのでぜひご検討くださいということでしたが、結果としてそれらは示されなかったと。撤退後にお聞きしますと、あそこの店舗形態が今の量販店のスーパーの店舗形態とはそぐわないような形態であると。すなわち、入り口から入って全て斜めに商品棚があるという店舗は、もう今はそういう形態をとってるスーパーさんはないんだそうです。あるいは、水回りが以前から言われてたように非常に改修しなければならない状況やらさまざまなことがあったようでございますし、決め手は店舗と駐車場、店舗の中に3階、4階にも駐車場はあるんですが、基本の駐車場が県道を挟んで向かい側にあったというのが、スーパーさんのお話ですと、考え方もそれぞれスーパーさんによって違うのかもしれませんが、一般的に言われてるのは、現在の店舗はそういう形態ではお客様がなかなか不便を感じてしまうというようなことだそうでございます。

株式会社タウンセンターが所有しておりますテナントビルにつきましては、所有者の責任で次期入居スーパーを獲得すべく交渉を続けておられます。相手方、進捗状況につきましては、所有者と長井市、長井商工会議所において情報を共有しておりまして、市民生活の利便性を確保する観点から長井市としても支援を検討しておりますが、昨日も申し上げましたとおり、民間取引の原則から、現時点での進捗状況については、交渉の状況については控えさせていただきたいというふうに思います。

タウンセンタービルの活用につきましては、1階に商業施設が入ることを前提に、市役所機能の移転などを検討しております。第2庁舎の移転なども考えておりますが、現時点では1階の入居が決まっておらず、市の施設の入居についても何が入るかはまだ決定してない状況でございます。

ヨークベニマル長井店撤退後の対策として、今泉議員からは買い物に困ってる方についての対応について、具体的な提案を前回にも引き続きいただいたところでございます。ありがとうございます。

まず、前回も提案したバス料金の補助についてということで今泉議員から質問あった点でございます。バス料金の補助につきましてですが、また、買い物の実態についてお答えを申し上げたいと思います。3月議会でもお答えしたとおり、バス料金については、長井市地域公共交通会議において検討いたしまして決定してるものでございます。現在の料金体系については平成26年7月に改定したものがベースになっており、昨年一部修正して現在に至っているものでございます。

具体的には、市営バスを3台で運行していたときと比較してバス台数をふやしたことによりまして停留所がよりきめ細やかになったほか、2年前の利用料金改定で中央地区の循環区間内においては乗降の場所によっては以前は200円かかっていたところを一律100円で乗りおりできるように改善いたしました。また、中央地区以外から出発したバス利用の皆様にも、中央地区内においでいただく場合、場所により最大で400円かかっていたところを最大でも300円で乗れるように改善してきたことはご承知のとおりでございます。

このようなことから、ご質問ありました中央地区におけるバス料金について、期間を限定して補助してはどうかということにつきましては、中央循環区間だけというわけにもいかないのです、さきにお話しした長井市地域公共交通会議において全体の料金を決定してるわけでございますので、これは少し工夫をしないといけないというふうに考えております。

具体的には、100円の半額の50円をまずはお店側というのはなかなか難しいとしたら市だけ

でもしたらいいんじゃないかということもございますけれども、ごもっともなんですけれども、まずは今までヨークベニマルさんで買い物していた方が買い物できなくなったということではほかの店舗で買い物していただいた場合、バス料金の半額ということもございますので、なかなかご本人の申告じゃないと難しいと。したがって、1カ月ぐらいご利用いただいたものを後で直接こちらにお手数でもお越しいたいて補助額をお渡しするというやり方もあるでしょうし、あとは実際に本当に使ったんだよということでバスをおりに際に運転手さんから何かスタンプを押してもらおうとか、いろんなやり方があるかと思うんですが、なかなか煩雑ではないかということで、以前より考えておりました回数券の割引率を高くする。今1,000円で11枚、1,100円の回数券ってあるんですけども、これを議員おっしゃるような半額の1,000円で1,500円の利用券というようなことでもよろしいんじゃないかと。これですと買い物で使う場合も、あとそれ以外でも使えるわけですし、そんなことで回数券のほうで対応するのが一番ご本人にも負担かからずに、なおかつ市としても支援しているということの対応ということになるのではないかなというふうに考えているところでございます。

この1月の市営バスの乗降車数について少し、実態をどうだということでもございましたのでその報告をさせていただきたいんですが、買い物で利用されている方々の動向として、市営バス利用者の乗降車の動きから推察できます。なかなかアンケートをとるとするのは、どなたが買い物、失礼ですけども困ってる方、なかなか把握できておりませんので、そこで各停留所から乗降者数で見えますと、まちなかから大型店舗のある市街地南の館町方面への利用者の動向を見るため、例として西根バスと致芳バスの状況を調べてみたところです。この28年1月、閉店する前でございますけれども、市営バスの乗降

車数は本町ヨークベニマル前及び桑島記念館の停留所から乗った方は119名、おりた方は180名でございました。これがヨークベニマル長井店が閉店した3月は、乗った方が78人、おりた方が46人と激減しています。中心部からの乗りおりは減っている状況です。乗った方が35%減、おりた方が74%減という状況です。一方、小出のヨークベニマル前とヤマザワ前の乗降車で見てみますと、1月は乗った方が123名、おりた方が87名でした。3月でございますが、乗った方が169名、おりた方は174名となっております。大分多くなったと。乗った方が37%増、おりた方がほぼ倍の100%増というふうになっているところでございます。

自家用車で買い物へ行けない方の動向は、このことから、市営バスを利用して以前はヨークベニマル本町店でおりにいた方々が今は館町南のほうに流れていることがわかります。これは今泉議員が推計されたとおりのところでもございます。

本町ヨークベニマル前からの乗降車は月に数十人が館町方面へ買い物に行かれていますと推察できます。なお、本町にヨークベニマル長井店があったときも、現在の館町南地区へ移ってからも、お客様の多くは自家用車で訪れているのが実情ではないのかなというふうに思います。ただ、おっしゃるように、車の運転しない、あるいは自転車でもなかなか大変だという方が数多くいらっしゃるのももちろんでございます。

市といたしましては、バスをもっと使っていただくために、先ほど申し上げましたような割引額の高い定期券、または回数券の見直しも視野に入れて、乗っていただくため、あるいは買い物で困っておられる人のために仕掛けづくりの作業を現在進めているところでございます。

続きまして、土日、祝日のバス運行を実施することについてでございます。

土日祝日の運行についてでございますけれど

も、現在の市営バスの運行のもととなっているものは、平成25年度に実施した市民の意向調査でございます。その調査結果によりますと、利用目的は圧倒的に通院ということでございまして、市役所が休みだからバスも休みだということではございません。また、平成22年から26年まで、4月から6月の花の時期の土日に、中央循環バスまわるんというのを試験的に運行しました。利用者数は、シーズン合計で154便、30名の乗車実績でございました。ほとんど乗られてなかったということで、これまでの交通会議においても、特に土日、祝日の運行希望はなく、この試験運行実績からもまだその必要性が高まっていないと判断されてきたという実態がございまして。

このようなことから、基本的には病院や公共機関の休業日は運行を今までしなかったと。要は、これ以上赤字をふやすんでなくて圧縮するという意味でしてこなかったということでございますが、今後、長井市が目指すまちなかのにぎわいづくりにおいては、中心市街地の活性化のために市民の方々のほかにも外部からの人の受け入れも進めていかなければなりません。平進介議員の質問でもお答えしましたが、来年からオープンいたします観光交流センター川のみなど長井を最大限生かすためにも、来年の4月からバス運行ルートも変更しなければならないというふうに考えておまして、あわせて土日、祝日などの運行もその準備作業に今入っているところでございます。

続きまして、次の項目の長井小学校第一校舎の存続と活用についてでございます。

長井市の宝としての登録有形文化財の第一校舎を存続させることについて、今泉議員から市の対応の現状と今後の見通しはどうかというご質問でございます。

長井小学校第一校舎の耐震改修工事につきましては、ことし3月の議会の予算特別委員会に

おきまして平 進介議員から質問いただき、答弁しておりますが、耐震施工には免震工事が、これしかないということ、実施設計を行った結果、老朽化が著しい部分があり、改修費が思った以上にかかるということ、空調設備も同時に施工するという事になったことなどから、当初約4億円というふうに見込み、説明しておったところでございますが、工事費が総額で6億2,000万円となったことや、何回か文科省本省を初めいろいろ要望してまいりましたけれども、国庫補助金が2年間で直接的には2,000万円と少額であったと。交付税措置は後ほどあるんですが、それでも非常に低い補助率であったということなどによりまして、今年度の改修は見送ったところでございます。

また、この第一校舎は平成21年に国の登録有形文化財として登録を認定いただいたのですが、市制施行の昭和29年から平成27年までのこの62年間だけでも約1万3,000人の卒業生を数える歴史ある校舎であることから、今後も長井市のシンボルとして、歴史と伝統を残す文化財として存続させるべきと考えております。

また、歴代の校長先生やPTA会長さんとの意見交換会においても存続させるべきとなっております。今後の対応としては国からのさまざまな交付金や補助事業のメニューの調査研究を行いながら、例えばご寄附、あるいは自治体としてのガバメントクラウドファンディングなどのさまざまな財源確保、最終的には足りない部分は起債等々になるかと思いますが、そういったことで対応していきたいというふうに考えております。

この項に関しましては、議員からは第一校舎を文化財として存続するだけでなく、これを有効に活用するための構想はどうかということでございますが、これは議員からも具体的にご提言ございましたけれども、これが一番重要でございます。6億円もかけてただ保存するだ

けかということになるわけです。しかも、文部科学省からの補助が見込めないということでもありますから、学校としては切り離すと。いわゆる一般の学校ではない文化財の使い方もあるんでしょうし、市民にいろいろ利用していただくような使い方をしなければならないと。ただし、これは維持費も相当かかるというふうに考えておきまして、したがって、6億2,000万円をかけて、あと毎年維持費がかかるということであれば、それ相応のやっぱりある程度の運営費分ぐらいは収益を上げるものとして考えていかないと、これから公共施設をどんどん整備しなきゃいけない状況の中では非常に厳しいということから、なかなか具体的な構想については今、私どもまず内部で詰めておりますが、ぜひ今泉議員初め議会の皆様からも、あるいは市内のさまざまな団体の皆様からもご提言をいただきたいというふうに思います。

せっかくの文化財でございますので、長井の教育、あるいは長井のまちのシンボルである第一校舎であることから、議員おっしゃるように歴史を学ぶ場所、長井の偉人的なものを、あるいは置賜や山形県の偉人としての説明を、有料で見ただけのかどうかということもあるんですけども、展示の場所としての利用の仕方もあるかと思えます。例えば以前に文教の杜の利用検討委員会ということで平成23年、4年あたりにご検討いただいて、いわゆる美術館と市民のいろんな作品を展示する展示ホールなど欲しいと。ギャラリーとは、ちょっと規模の大きいものですね、そういったことなどもございましたので、そういったことなども一つの候補だというふうに思っておりますが、やはりそういう展示物というのは市としては非常にステータスが高くなって、外から訪れた方が長井市に関心ある方はお金出しても見てくださるんでしょうけども、通常はなかなか難しいと。ですから、私ども今の考え方としては、次世代の子供たち、あ

るいは人材を育てる、そういった学びの場としての利用方法が必要なんではないかと。ただし、あのぐらい広い建物でもありますので、その中に長井の歴史や、あるいは長井の舟運文化とか、そういった地元の芸術文化なども紹介できるコーナーがやっぱり必要だろうというふうには考えているところです。

あわせて、昨日もお話ししましたが、「魔女の宅急便」の角野栄子さんなどの、角野栄子記念館、長井小学校に疎開されておりましたし、角野さんのブックカフェとか、あと子供たちがさまざま学びながら遊べる場所的な活用などが考えられるというふうに思いますし、あとは川のみなど長井からまちなかにお客様を誘導する際の一つの重要な位置づけにもなると考えているところがございますので、今後国のほうの新型交付金なども活用しながら、計画づくりを28年度に行っていきたいなというふうにも思っておりますので、その際にいろいろご意見を賜りたいというふうに思います。

少し急ぎます。4番目の次の市民ギャラリーについてでございますけれども、ギャラリー駐車場の利活用についてということで、具体的なご提言も踏まえていただきました。

ギャラリー駐車場の利活用については、長井駅にギャラリー駐車場を置いていただいたわけですが、それ以前は平成9年から平成17年の3月まで観光協会が入っておられたというのはご存じだと思います。私は、あそこから観光協会が出たということには、大変残念だったと、憤りすら覚えました。タスの一角の誰も行かないようなところに観光協会を置くとは何事だと、私は当時、市会議員でございましたんで非常に反発して、当時の市長からかなりいろいろな意味で怒られました。怒られたといたってこっちの意見ですから、それはそれでちょっと趣旨がわからないということでしたが、その後しばらくして、市民ギャラリーということ

でギャラリー十字路をなさってた有志の皆さんがあそこに駐車場ということでされたというのは非常に私は感謝しましたし、支援もしてきたところでございます。そんなことで、10年たつんだということで、まずはギャラリー駐車場を主催されてる方、あるいは利用されてる方に敬意を表したいというふうに思います。

現在、ギャラリー駐車場さんのほうでは、長井駅におられる観光客の皆様のご案内もしていただいているという話もお聞きしましたので、平成25年度からではございますが、年間、ほんの少額でございますが、10万円の支援をさせていただいております。

そんなことで市民が集える市民ギャラリーとしての改修が必要ではないかということで、市としての考えをどうだということのご提言でございますが、美術品等を展示する施設やスペース、いわゆるギャラリーについてですが、市では現在、公共施設の整備について検討を重ねているところですが、その中で議員がおっしゃるような本格的なギャラリーの新設については、現段階では具体的にはまだ計画してなくて、優先順位的にはどうしても後になるなというふうに考えてます。しかし、今後整備すべき施設等の中で、そうしたスペースを設けることは必要だと。特に文教の杜の中に小桜館もあって、丸大扇屋等もあるわけですけども、それに加えてご寄附をいただきました芳文庫ギャラリーですね、ギャラリー芳文庫ということで貴重な美術品などもございますので、あの辺一帯にやはり市民の皆さんが芸術文化をさらに高めていただくための展示施設、あるいは美術館というのはなかなか難しいかもしれませんが、そういったものをぜひつくりたいものだというふうに思っております。

今回の具体的なギャラリー駐車場の改修についてでございますけれども、ちょっとこれ少し長くなりますが、長井駅舎についてからお話し



したいと思えますけども、大正3年に長井線が開業して100年を超える構造物というのは、途中で改築しておりますので昭和の十五、六年ぐらいの建物だというふうに聞いております。国鉄時代当時の間取りが構造の基本となっており、一部は観光協会が平成9年に入るときに改修したというふうに聞いております。ギャラリー停車場については、現在、駅舎の所有者である山形鉄道株式会社からギャラリー停車場の会へお貸ししてるわけでございますが、駅を有効活用していただいて、憩いの場、あるいはにぎわいをつくってもらおうということから、料金も1日当たり1,000円、月3万円ですね、ということになってます。山形鉄道としましても、地域の芸術文化の大切な発表の場というふうなことで支援した金額だったということでございます。

提案の改修についてでございますが、これは東北芸術工科大と現在地域おこし協力隊の渋谷達郎隊員のほうから、ちょっとまちづくり基金などを活用して、入り口がおっしゃるように狭いので改造したらどうかという案がございましたが、なかなかこれはまちづくり基金としても、審査委員会としても長井駅全体をどうするかという中で考えていくべきだろうと。ですから、ギャラリー停車場だけということでは駅のスペースをちょっと少し狭くするような提案でしたので、そのところは難しいんじゃないかというふうに言われて、残念ながら採択にならなかったようでございます。

長井市といたしましては、先ほど最初に質問ございましたヨークベニマルの2階の部分、そこにできればギャラリー停車場さんなんかもそちらもお使いになったほうがいいんじゃないかと。というのは、ギャラリー停車場は、やっぱり見てますと、ぜひ見たいという方がわざわざいらっしゃる方が大部分なんです。市民の方がたまたま近くを通ったので、ああおもしろそうだ見ようという方は余りいらっしゃいません。

大体鉄道を利用される方も時間の30分前になんていらっしゃいませんので、ですから基本的には県外の方というのは、何というんでしょうか、やっぱり聞きつけていらっしゃる方なんです。したがって、例えばタウンセンターの中にそういうものも置いていただけますと、買い物のついでとか見たついでに買い物もしたり、あと市役所のいろんな用事も足せますので、かなり広大なところなので、できればそこを活用いただきたいと。駅舎については今後さまざまな計画があるものですから、できればギャラリー停車場側と話しして、どこまですればいいのかということをもう少し話し合いをしながらしていくべきじゃないのかなと考えているところでございます。以上でございます。

○渋谷佐輔議長 8番、今泉春江議員。

○8番 今泉春江議員 ご答弁いただきました。

きょうの市長のご答弁は、今までになく私に対しては前向きなご答弁をいただいて、非常に喜んでおるところでございます。

まず、ヨークベニマルの撤退ということで質問しております。3回目ぐらいになりますけれども、やっぱりヨークベニマルの撤退というのは企業の都合で撤退するわけですから、これは企業の責任ということになります。そして、撤退後に市民が困っている、どうしたらいいのかという、そういうものに対応するということは、やはり市の責任であると私は思っております。

そういう意味で、今ご答弁いただきましたように、対応というか発表はできないけども、会議所とも連携したり情報を共有したりして進めているということでもございました。なかなかはっきりとスーパーが入りますと、どこが入りますと言わなくても、入りますというようなことが担保されれば市民は非常に安心して、すぐでなくても来年の何月ごろとか、やはりそういうふうな、それまで何とか頑張ってお買い物しようとか、いろいろ工夫してしようとか、もちろん

ヨークが閉店したということで市内の近くの商店などもお客様もふえておりますから、決してそればかりということではありません。もちろん向こうのほうにも皆さん、南に行っておりますから、そういうところでお客さんもふえてるということも事実ですので一概に中心市街地がどうのこうのというものではないんですけども、やはり今も申しあげましたように、車や自転車に乗れない方という、そういう本当に交通弱者というか、買い物難民と言っては失礼ですけども、やはりそういう方のために市として対応していただきたいということを申しあげたいと思います。

いつごろになればこの対応というか、はっきりなるのかなということをお聞きしたいところですけども、市長、いかがでしょうか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 時期については、やはり民間のほうで交渉されているので断言できるところは全くないんですが、この間、6月の初めに中心市街地活性化協議会、今年度の第1回目の会合の中で、本町・中央まちづくり協議会の桑島会長さんのほうからタウンセンターについて、どうも民間に任せてだけでは進まないようだから、民間の所有者の了解を得て市が中心となって交渉すべきじゃないかというような提言がありました。それを受けて商工会議所とお話し合いをして、会社側のほうに申し入れをしました。会社側は、やっぱりあんまり言われたいんですよ。市民から何した、おまえらのせいだぞというあれがないんだと思うんですよ。我々とか議員そのものも言われる方はいらっしゃると思うんですよ、何しとんだ議会はとか、何しとんだ市はと。ところが、肝心のオーナーは全然そういう話ないんでしょうね。だから全くのんびりしてるんですよ。

私どもも、なかなか進まないのもその会社を通して、実は副市長は1回行っていただきまし

た。でも、最初は断られたんです、来ないでくださいと、会社側からは。でも、私どもそんな状況じゃないと。やっぱり今泉議員初め議会の皆さんが心配されてるように、本当に市民は困っているんだということで、私どもに交渉もある程度一緒になってさせていただくように申し入れをして了解を得ておりますので、今後は一体となって私ども入らせていただいて交渉すると。ただし、向こう側、入居する側もさるものなので、やっぱりできるだけ我々行政からお金を引き出そうとするのは見えてますので、そこがあんまり我々としては表に出たくなかったんですが、ここまで来ますと議会の皆様からもご了解を得て、できる限りの対応はしていかなければならないと考えてるところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 8番、今泉春江議員。

○**8番 今泉春江議員** じゃあ積極的に今後も対応していただきたいと思います。

そして、ちょっとバス料金の話ですけども、今、市長のほうから回数券の半額というようなことありましたね。ぜひそれも緊急にさせていただければ、その方たちのバス、交通弱者のためのやはり対策にもなるんじゃないかと思います。これ緊急を要しますから、なるべく早くお願いをしたいと思います。

また、土日のバスなんですけども、土日、日曜日、役所のように休みだというようなことを申しあげましたけども、やはりイベントなんかあって、郡部のほうからひとり暮らしの方なんか来たいと、あやめまつり、つつじまつり、黒獅子来たいというけど土曜日休みだもんなと、誰も乗せてってもらえないしななんていう声もあって、やはりそういうお祭りのときとかイベントのときとか、急に周知するのもなかなか難しいとは思いますが、やはり何かそういう方法も考えていただきたいと。ぜひ休日の運行ということも今後考えていただきたいと強く思っております。市民の声があるもんですから、

ぜひそこはよろしく願いいたします。

次に、長井小学校の文化財利用ということなんですけども、先ほども市長も答弁いただきました。文化財として当初は管理棟というか、それも機能するというか、そこに入れるということでいろいろご協議いただいたわけですよ、文教なんかでもね。ですけども、こうなってしまうとやはり非常に莫大なお金もかかると。ですから、文化財としてどう利用できるかと。

ちょっと川西町の、全然違うんですけども、鉄筋コンクリートですけども、川西町の休校になった、合併したもんですからね、休校になった学校を見てきました。新聞にも出てましたよね、あいぱるとかってね、川西町交流館ということで。非常に親切に全館を案内していただきました。この中で、やはり今、市長がおっしゃったように、川西町では黒澤梧郎さんとか本間喜一さんとか、こういう方の紹介とかギャラリーなんかもあったりして、やっぱり利用しておりますね。やはり改修するのに2億円ぐらいかかったそうです。ですから、やはり文化財として残すにもそれなりのお金はかかるかと思えます。ですから、先ほどの話にもありましたように、さまざま保存していくため、文化財として残すため、維持経費などは卒業生も1万3,000人ということですのでね、多くの市民の方、県外の方、ふるさと納税などで寄附金というか、そういうものも募っていただいて、ぜひ長井小学校第一校舎を、文化財として貴重ですから保存していただき、有効に使っていただきたいと思えます。市長の先ほどの答弁を一応確認したいと思いますので、ぜひあれですね、補助金とかさまざまそういうところに対応できるものを検討していただきたいと思えます。そのことについて確認をしたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

地方創生の国の新型交付金というふうに申し

上げましたけども、具体的には推進交付金ということで、ぜひ手を挙げたいと。それは、まずは長井小学校第一校舎の使い方についての計画づくりということで手を挙げたいというふうに思ってますが、それは、前提は免震工事をするということ、なおかつ、そんなに長い時間をかけずにやらないといけないということだと思ってます。そんなことで、その際にいろいろご意見を賜ればありがたいなど、必ずそういう機会をやっぱりつくるということが前提でございます。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 8番、今泉春江議員。

○**8番 今泉春江議員** ぜひ検討していただきたいと思えます。

時間はもうありませんので質問はいたしません、ギャラリー停車場、市民ギャラリーとしてのヨークの2階などということも非常にいいアイデアだと思います。多くの市民が、もしもスーパーが入ったり、市役所が入ったりすれば訪れるわけですからね、ぜひそのことも前向きに検討していただいて、お願いしたいと思えます。

まず、改修の件も何とかということで要望いたして、質問を終わりたいと思えます。ありがとうございます。

### 赤間泰広議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 次に、順位9番、議席番号10番、赤間泰広議員。

なお、赤間泰広議員から、資料の配付について申し出があり、許可いたしましたのでご報告いたします。

(10番赤間泰広議員登壇)

○**10番 赤間泰広議員** 午後から大変眠くなる